台東育英

台東区立台東育英小学校

Ｎｏ．７　統括校長　瀬下　清

http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/

「楽観主義で強い人に」

統括校長　瀬下　清

秋も深まり、街路樹の葉も日ごとに赤や黄色に彩りをましてまいりました。キンモクセイの優しい香りが心を癒やしてくれています。

先月には、爽やかな秋空の下、運動会を開催し、保護者や地域の皆様のたくさんの応援をいただきながら、子供たち一人一人の活躍する姿をご覧いただくことができました。ご多用のところ、ご参観いただき誠にありがとうございました。

さて、私は、今年で教職３５年目となります。これまでに多くの子供たち、保護者や地域の皆様、そして、教職員との出会いがありました。学校の教育活動の中では、様々な予期せぬ出来事もあり、その都度、対応に向かってきた３５年間でもあったように思います。そうした中で、人は何かが起こった時の捉え方として、大人も子供も大きく分けて二通りの考える癖があるのを感じます。それは、楽観主義か悲観主義かということです。楽観主義の人は、何が起こっても、いい方向へ、楽しい方向へ、前向きの方向へと受け止めていく考え方の人です。一方、悲観主義の人は、何でも悲しい方向に、苦しく暗い方向に考えていく人です。私は、どうせ同じ時間、同じ一年を過ごしていくのであれば、何があっても、いい方向、前向きな方向に捉える方が幸せではないかと。暗く悲観して考えるのは、損だとも考えています。言い換えれば、楽観主義の人は、強い人ではないかとも思います。

「ライフ イズ ビューティフル」という映画に感動したことがあります。ユダヤ系イタリア人の陽気で機転のきく父親グイドと、美しい小学校教師の母親ドーラ、そして、息子ジョズエの家族３人は、トスカーナ地方の小さな町で幸せな日々を過ごしていました。やがて彼らが暮らす町にもユダヤ人迫害の魔の手が迫り、３人は強制収容所に連行されてしまいます。父親のグイドは、幼いジョズエに悲惨な現実を悟られないように、ひたすら陽気に振る舞いながら「これはゲームなんだ。泣いたり、ママに会いたがったりしたら減点。いい子にしていれば点数がもらえる･･･」と、嘘を続けるのです。絶望的な収容所の生活も、父親グイドの弁術にかかれば、楽しいゲームに様変わりします。そして、息子ジョズエは希望を失うことなく生き延びていきます。自分の人生を明るいものにするのも暗いものにするのも、心の持ち方です。

子供たちが生きていく中には、思い通りにいかないこと、計画していたことと違うことが起こるのは、当たり前のことです。何かがあったとき、前向きな方向に捉え、バネにできる子供たち一人一人に成長してもらいたいと思います。そのためにも、私たち大人が、楽観主義の強い人へと成長していきたいと考えます。

音楽会に向けて

音楽主任　藤本　章子

音楽会が１１月１７日（金）、１８日（土）に行われます。今年度は「なかまとともに、伝え合おう・心のハーモニー」がテーマです。子供たち全員が精一杯、音を奏で、音楽を楽しみながら仲間と一緒に表現することが目標です。

低学年（１～３年）は、なかまと音を合わせることを楽しみ、高学年（４～６年）は、なかまと音を合わせながら演奏を通して伝え合う喜びを感じることができるようにします。どの学年も心を一つにして表現できるよう一生懸命、音を奏でます。

子供たちは初めて楽譜を手にした日から、明るくはつらつと音楽を楽しみ、少しでも上手になれるよう練習に励んでいます。授業のときはもちろんですが、休み時間等も音楽室や教室で黙々と練習する姿が見られます。また、友達同士で演奏の仕方を教え合ったり、自分たちで音楽を合わせてみたりと、子供たちの自主性も育ってきているように思います。

台東育英小学校児童全員の思いが重なり合い、学年全員で気持ちを込めて一つの音楽が奏でられるような音楽会になればと思います。そして、感動を与えることができるように演奏をしたいと思います。お子様の頑張る姿を是非ご覧ください。

♪本校、吹奏楽部は１１月１１日（土）にさいたまスーパーアリーナにて開催される「第５８回マーチングバンド関東大会」へ出場します。応援よろしくお願いします。

秋を楽しみ、遊ぶ姿

１年生担任　塚田禎子　小玉祥史　村田将基

１０月２０日（金）に舎人公園へ行きました。初めての校外学習で、１年生だけで出かける経験は初めてでしたが、道路の歩き方に気を付けたり、バスの運転手さんへ挨拶をしたり秋を散策し自然と触れ合うことができました。

地面に転がるいくつものどんぐりに、子供たちは喜びの声や驚きの声をあげていました。国語「しらせたいな、見せたいな」の学習に繋げるために、生き物を観察しましたが、どの子も細かいところまでよく観察をし、絵や言葉でまとめることができました。

昼食も、友達と仲良くお弁当を囲み、みんな満足そうでした。お弁当の紹介をしてくれる子もいて嬉しさが伝わってきました。昼食後は、近くの公園で遊びました。マナーを守り、安全に気を付けて元気いっぱい遊びました。

帰りに、「また、みんなと来たいな。」「今日は楽しかったね。」という言葉が聞こえてきて、楽しい１日を過ごすことができたことに担任も喜びを感じました。

今回、校外学習へ出かけることができ、子供たちも思い出に残るよい経験ができました。

日々の学習の中で

２年生担任　伊藤幸恵　幸田　栞　早川隆盛

２学期の大きな行事の一つ目の運動会を経て、２年生の子供たちは「友達と学習する」「気持ちを合わせる」といったことを、より意識できるようになってきました。自分自身を大切に思う気持ちはそのままに、集団の中の一人であるという自覚も、育ちつつあるように思います。

次の大きな行事の音楽会に向けて、声を合わせて歌うことや、鍵盤ハーモニカを演奏することの楽しさと、難しさも感じている様子です。

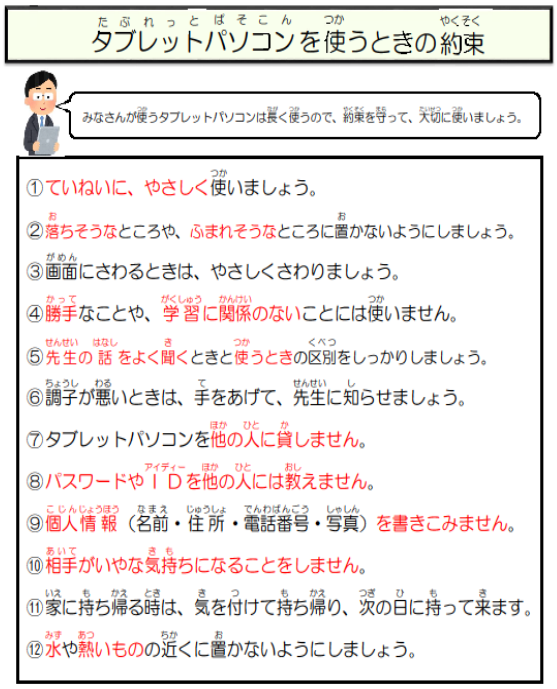
また、先日は、生活科の学習で、「町たんけん」に出掛けました。今年度は、１１もの地域のお店の方々にご協力いただき、２日間に分かれて、お店の方に直接インタビューをさせていただくことができました。引率と見守りには、保護者の方にもご協力いただき、子供たちも安心して、校外で学習に取り組むことができました。

浅草橋の町の良さに改めて気付くことができる貴重な体験になったと思います。自分たちの生活や学習が、多くの方によって支えらえているという感謝の気持ちをもてた児童もいました。また、子供たち同士の発表会では、自分が知らなかったお店の良さや、地域の方からの温かい思いに気付く児童もいました。

日々の学習の中で、心も体も、さらに大きく豊かに育ってほしいと願っています。

ICT 機器活用への取り組み

ICT 担当　小玉　祥史



台東区 GIGA スクール構想におけるインフラ整備として、一人一台タブレット端末が配布されています。子供たちも、連絡帳、ドリル学習や発表、調べ学習など様々な場面で、活用しています。

慣れてきた一方で、誤った使い方をしている様子も見られます。学習に関係ないことに使ったり、長い時間使ったりすることもあるようです。効果的に学習で、タブレット端末を活用できるよう指導しています。正しく使用すれば、大変便利なものですが、適切な判断ができないと、思わぬトラブルに巻き込まれることもあります。ご家庭でも、お声掛けのご協力をお願い致します。